

# 岐阜県における早生樹植栽について ～コウヨウザンを事例として～

## ● 早生樹とは

近年、「早生樹」と呼ばれる樹木が注目されています。「早生樹」とは、成長が早く比較的短期間で収穫が可能な樹種のことをいいます。しかし、早生樹が岐阜県内でどのような成長をするのか、植栽適地、立地条件などに関する情報は知られていません。そこで、過去に植栽事例があり、最近も試験植栽が行われているコウヨウザン（図1）について調査を行いました。

コウヨウザンは中国・台湾原産のヒノキ科の常緑針葉樹で、樹高30m、直径1m以上に成長します。日本には江戸時代以前に導入され、高齢のものは寺社などで見ることができます（図2）。



図1 コウヨウザン実生苗木



図2 中津川市落合のコウヨウザン

## ● 岐阜県でコウヨウザンは育つのか

岐阜県内で過去に植栽されたコウヨウザンの中には大木といえる大きさのものもみられることから、岐阜県内で生育できる可能性は十分にあると言えます。

また、森林総合研究所が国内（宮城県～九州）の植栽地の環境を解析した結果、コウヨウザンの気候的な生育適地は照葉樹林帯（シヤカシが主に生える地域）に該当することが示されました。

岐阜県では、県南部の平野部を中心とした地域がこれに該当します。過去に植栽され現存するコウヨウザンのほとんどが前述の地域やその近隣に分布しています（図3）。

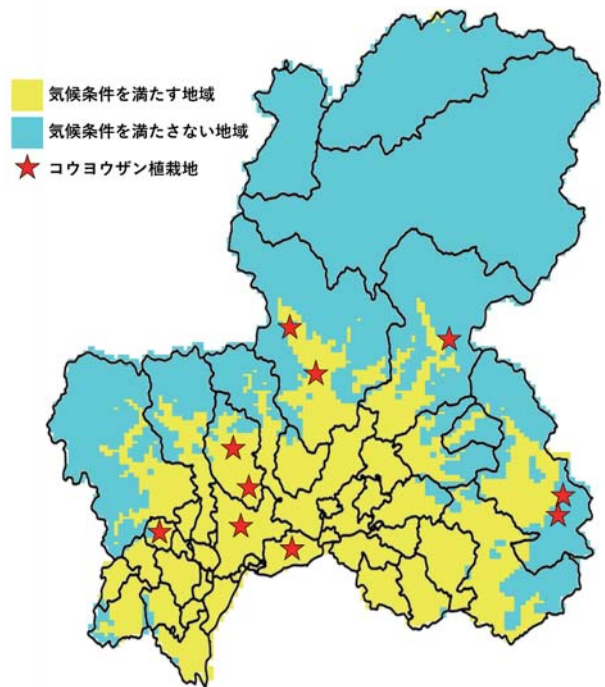


図3 コウヨウザンの気候的適地



## ● 岐阜県のコウヨウザンの生育状況

### ○ 獣害

コウヨウザンの葉は硬く鋭いため（図4）獣害に遭いにくいと考えられたこともありましたが、広葉樹などと混植したコウヨウザンでは、ノウサギによる食害率が高樹種に比べて高いとの報告があります。岐阜県でも、ヒノキと混植したコウヨウザンで同様の結果が観察されています（図5）。



図4 コウヨウザンの枝葉

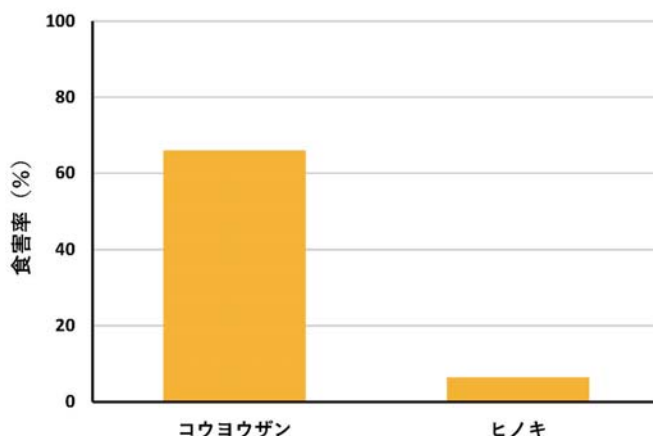


図5 ヒノキ、コウヨウザン混植地でのノウサギによる食害率

### ○ 成長

最近植栽された県内6カ所のコウヨウザンでは、場所によって樹高成長に差がみられました（図6）。また、上矢作試験地の成長過程から、ツリーシェルターを設置（図7）することにより樹高成長が早くなっていることがわかりました。

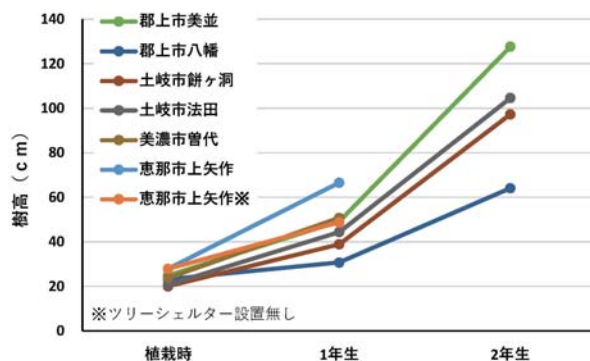


図6 各試験地のコウヨウザンの樹高成長



図7 ツリーシェルター内のコウヨウザン

## ● コウヨウザン植栽のためには

岐阜県の南部については、コウヨウザンの植栽に大きな問題はないと考えられました。しかし、場所によって成長が異なることから、より早く成長させるためには適切な場所を選んで植栽をする必要があります。また、健全な成長のためには、食害防止の手立てを講じる必要があります。